

作
三島由紀夫

Madame
de Sade

MISHIMA
YUKIO

MIYAMOTO
AMON

サド
侯爵
夫人

演出

宮本亞門

出演

成宮寛貴

東出昌大

三浦涼介

大鶴佐助

首藤康之

加藤雅也

2026年

1月8日[木]→2月1日[日]

2月5日[木]→2月8日[日]

2月13日[金]→2月14日[土]

2月17日[火]→2月18日[水]

紀伊國屋サザンシアターTAKASHIMAYA

森ノ宮ピロティホール

穂の国とよはし芸術劇場PLAT主ホール

福岡市民ホール中ホール

<https://tspnet.co.jp>

企画製作＝tsp Inc.

三島由紀夫生誕から100年。
2026年1月、あらたなミシマの「世紀」が始まる
幕上げとともにオール男性キャストで上演。

私がつもつとも作家的興味をそぞられたのは、サド侯爵夫人があれほど貞節を貫き、獄中の良人に終始一貫尽してゐながら、なぜサドが、老年に及んではじめて自由の身になると、とたんに別れてしまふのか、といふ謎であつた。この芝居はこの謎から出発し、その謎の論理的解明を試みたものである。そこには人間性のもつとも不可解、かつ、もつとも真実なものが宿つてゐる筈であり、私はすべてをその視点に置いて、そこからサドを眺めてみたかつた。

——三島由紀夫「跋」（『サド侯爵夫人』）

サド侯爵夫人

Madame
de Sade

MISHIMA
YUKIO

MIYAMOTO
AMON

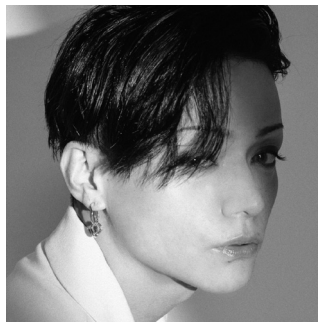
作 | 三島由紀夫
演 出 | 宮本亜門
美 術 | 久保田悠人
衣 装 | ツグエダユキエ
照 明 | 佐藤啓
音 響 | 鹿野英之
ヘアメイク | 山本絵里子
演出助手 | 木村孔三
舞台監督 | 千葉翔太郎
企画製作 | 株式会社トータルステージプロデュース
出演 | 成宮寛貴 東出昌大 三浦涼介
大鶴佐助 首藤康之 加藤雅也



成宮寛貴



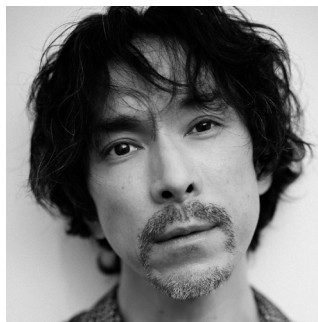
東出昌大



三浦涼介



大鶴佐助



首藤康之



加藤雅也

2025年10月25日[土]
チケット一斉発売

入場料金 |
全席指定・税込——11,000円
U-25チケット——6,600円
(観劇時25歳以下対象、要身分証明書)

チケット取扱い |
チケットぴあ
<https://w.pia.jp/t/madame-de-sade2026/>
ローソンチケット
<https://l-tike.com/madame-de-sade2026/>
イープラス
<https://eplus.jp/madame-de-sade2026/>
キノチケオンライン(東京公演のみ)
<https://store.kinokuniya.co.jp/ticket/>
キノチケカウンター 紀伊國屋書店新宿本店
インフォメーションカウンター内
(店頭販売10時から18時半)

東京公演 | 2026年1月8日[木]~2月1日[日] 紀伊國屋サザンシアターTAKASHIMAYA

	1/8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2/1
	木	金	土	日	祝月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
13:00																									
13:30																									
18:00																									
18:30																									

大阪公演

	2/5	6	7	8	13	14	17	18
	木	金	土	日	金	土	火	水
13:00								
15:30								
18:00								

豊橋公演

福岡公演

地方公演 |

2月5日[木]—2月8日[日] 大阪 | 森ノ宮ピロティホール
2月13日[金]—2月14日[土] 豊橋 | 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホール
2月17日[火]—2月18日[水] 福岡 | 福岡市民ホール 中ホール